

ITER非公式政府間協議第1回会合（EX-1）の結果について

平成12年4月18日
科学技術庁
原子力局核融合開発室

1. 日 時 平成12年4月13日（木）～14日（金）

2. 場 所 モスクワ

3. 出席者

日本：中澤科学技術庁長官官房審議官（日本メンバー代表）

中村科学技術庁原子力局核融合開発室長

岡外務省総合外交政策局国際科学協力室長

本島文部省核融合科学研究所研究総主幹

岸本日本原子力研究所理事

他 専門家

EU：フィンチ欧州委員会第12総局核融合部長（EUメンバー代表）

ペラ欧州原子力共同体核融合計画諮問委員会（CCE-FU）議長

バランダス欧州核融合開発協定運営委員会（EFDA）議長

グルンバルド欧州委員会法規部顧問

クシュウ欧州委員会貿易部門

カノビオ欧州委員会第12総局顧問

他 専門家

ロシア：ソコロフ原子力省原子力科学技術研究開発局長（ロシアメンバー代表）

コルツアビアン原子力省原子力科学技術研究開発局次長

フィラトフ ロシア・ITERホームチームリーダー

コナシコフ外務省安全保障軍縮局上級参事官

スミルノフ コルチャトフ研究所核融合部長

フォメンコ原子力省国際経済局

他 専門家

ITER：エマールITER所長他

4. 結果概要

(1)非公式政府間協議（EX）の位置づけ

- EXはITER共同実施取り決めの主要事項に関する共通理解を構築することを目

的とする、ノン・コミットルな協議。

- 会合はITERに関心のある極間による。一定の能力を有する第三国からEXへの参加に関心が表明された場合には、オープンな態度で臨むこととする。

(2)スケジュール

- EXにおいては、中間報告書（6月）及び最終報告書（12月）を取りまとめる。
- EX会合の暫定スケジュール

EX-2（6月、ロシア）、EX-3（10月、EU）、EX-4（12月、東京）

(3)サブ・グループの設置

- EXを支援するため、常設のサブ・グループ（SG）を設置する。
- 各極最大4名のメンバーで構成し、必要に応じて専門家を参加させる。
- 当面、EX-2に向けて中間報告書のドラフトを作成する。併せて、2001年7月のEDA活動終了以降において必要となる国際的な技術活動の内容の検討を行う。

以 上